

人権啓発ネットワーク大東機関誌 第12号 2018年8月

ぬくもり

編集と発行 人権啓発ネットワーク大東
〒574-8555 大阪府大東市谷川1丁目1番1号
電話 072-870-0441 FAX072-872-2268

2018 ヒューマンコンサート



沖縄からの風に吹かれて

～琉球伝統文化にふれる～



まだ寒かった2月10日、大東市に沖縄から暖かい風が吹き込んだ。

「沖縄かりゆし会」エイサーの迫力ある太鼓の音で幕を開け、伊佐美奈子さんによる琉球舞踊、そして、主役の長嶺ルーシーさんの登場。伸びやかに透き通った声は、優しく沖縄の風景と人の営みを歌い上げる。伴奏兼通訳のNao（なお）さんとの息もぴったり！

ルーシーさんは、沖縄からのペルー移民三世。日本語も分からず、裏声も出せなかった彼女は、カラオケ世界大会での優勝を機に来日し、本場沖縄の伝統音楽に触れた。それから25年、ソロ活動はもちろん、「ウチナー・ラヴソング」のメンバーとしても、沖縄を拠点に全国で活躍されている。

ウチナーグチ（沖縄の言葉）に「イチャリバ チョーデー」（出会えば兄弟）という言葉がある。日本と中国の間にあり、歴史に翻弄されてきた琉球・沖縄。様々な人や文化が行き交い、それらを受け入れ認め合う。三線（サンシン）の皮はニシキヘビ、沖縄のお酒・泡盛はタイ米…いずれも沖縄に無い。これも交易の豊かさと、受け入れるおおらかさを表すものだ。

その沖縄の人を差別し、米国との戦争で唯一の地上戦場として焼き尽くし、基地を押し付けてきた日本（ヤマト）を恥ずかしく思った。「出会えば兄弟」この精神でいけば、人々や国同士がかかえる様々な問題が解決されるはず…。

島唄は続く。楽しい歌の中にも、どこことなく寂しさを感じる独特の旋律に、どんどん引き込まれ、客席からも口笛や手拍子が起こり、大盛り上がりの中でコンサートを終えた。

ルーシーさんの祖父母をはじめ、なぜ沖縄からの海外移民が多かったのか。なぜ大阪には、大正区をはじめ沖縄出身の方々が多く住んでおられるのか。まだまだ知りたいことがある。今度、大東市民で作る「沖縄かりゆし会」を覗かせていただき、泡盛を飲みながら色々教えていただきたいと思った。



(レポーター：あき)

い い となりの活き生きサン

ここでは、大東市の人権推進につながる
取り組みを行っておられる方々や団体の紹介をさせていただきます。



くらしの相談窓口「くらし相談」さん

くらしのお悩み解決

お見積り無料

※1 不用品運出し
お見積り無料1人
1時間 3,000円～ 2人1時間 5,000円～

<p>不用品回収、粗大ごみ処分</p> <p>小さなもの一つから、一軒家丸ごと、倉庫、オフィス等まで。</p>	<p>家具の移動、組み立て、片づけ</p> <p>重い物、大きい物一つの移動から、お部屋の片づけは大小引越しまで。</p>
<p>遺品整理、生前整理</p> <p>集合住宅、一軒家丸ごと、分別から処分まで。</p>	<p>掃除、ハウスクリーニング</p> <p>水回り、庭、窓、エアコンからハウスクリーニング、草木伐採、害虫駆除まで。</p>
<p>リフォーム</p> <p>クロスの張り替えから、キッチン・トイレ・バスのリフォームなど。</p>	<p>修理、メンテナンス</p> <p>外壁・瓦の修理、ベランダの塗り替え、障子の張り替え、芝刈りなど。</p>

その他、植木の剪定、風呂釜撤去、解体工事、ガラスの交換、鍵のトラブル等々上記に記載の無いお悩みもお気軽に相談ください。どこに相談すれば良いの分からない住まいのお困りごとも、行政や企業と連携しながら、トータルにコーディネートさせていただくので安心です。

今回の「となりの活き生きサン」では、三箇に事務所を構えておられる、「一般社団法人くらし相談」の中尾亮大（りょうた）さんにお話を伺ってきました。不用品回収や、遺品整理などを通じ、地域の困りごとに向き合うくらし相談さん。そこで大切にしていることや、成り立ちなどについて聞いてきました！

もともと、NPO 法人住まいまもりたいから始まったという、くらし相談。そのときに始まった地域の困りごと解決(地域サポート事業)で挙げた課題が「高齢者の粗大ゴミ(出し)」でした。そこから現在の「遺品整理」や「生前整理」などの取り組みに続いていくこととなります。現在は、500 円で悩み事解決のような「何でも屋さん」的な活動や、引越しやリフォームなどの「市民サービス事業」というように住み分け、活動されています。

中尾さんが以前、障がい者福祉の法人で勤めておられたこともあり、くらし相談では地域の困りごとに関わり添うだけでなく、障がい者の働く場としての活動もしています。現在東大阪市にある障がい者の作業所・はなはなさんと連携を取り、利用者さんと一緒に引越しなどの現場に。「コミュニケーションが難しくても荷物を運ぶのが得意」など、必要なところで力を発揮できるため、とてもモチベーション高く働いておられるそうです。

くらし相談では、地域の困りごとと制度の「隙間」を支援することはもちろん、お客さんとのコミュニケーションも大切にしています。遺品整理や生前整理だけでなく、孤独死してしまった方のお宅の片付け(特殊清掃)なども取り組んでいます。孤独死に気づけなかったご家族の悲しみや悔しさに寄り添い、涙ながらに「ありがとう」と言われた経験がスタッフの「誰もがやれることではないからこそ自分たちが」という使命感につながっているそうです。

住環境やゴミの問題という側面から「命」に関わり添い、活動を続けるくらし相談さんのお話は、「命」を支える新たな可能性を見せてくれるようで、とても素敵なインタビューの時間でした。
(しポーター 卓ちゃん)



詳しくは
こちらから
くらし相談 ホームページ ⇒
(<http://kurasi-soudan.com/>)

憲法週間記念のつどい LGBT(性的少数者)啓発



悠以トーク&コンサート



～自分らしく生きる～を見て、聞いて!

5月11日夕方、総合文化センター大ホールに634人が入った性的少数者啓発のトーク&コンサートに参加して、自分の世間知らずを恥じて考えさせられました。体の性別と心の性別が違う人たちがいることは、テレビで見て知っているのに、いま大ホールの舞台上でライトを浴びて話している29才の女性・悠以(ゆい)さんが、生まれた時は男性(ユウスケさん)だったとはどうにも不思議な気がします。



トーク1部では、男の子ユウスケさんが中学3年生の時に母親に「女性として生きたい」と

勇気を振り絞って打ち明けると、母親から「女性として名前を悠以に変えよう。でも高校を卒業するまでは(性同一性障がい)を隠せ」と教えられたこと。また、高校では相談した担任の女性の先生が、トイレ利用など便宜を凶ってくれてありがたかったが、修学旅行の男性用の大浴場が見つかったことなどが話されました。高校を卒業する時に、同級生たちに打ち明けたところ、女性として生きることを認めてくれた反応に、自身の気持ちがすっきりしたと言います。

世の中にはいろいろな人たちが、みんな一緒に住んでいます。まさに共生社会です。

①女性同士や男性同士の同性愛者(レズビアン=L、ゲイ=G) ②恋愛対象が男女どちらにも向いている両性愛者(バイセクシャル=B) ③体の性と心の性が一致しない人(トランスジェンダー=T)、ほかにも、自分自身の性が決められない人など、いろいろな特性を持った人たちがいるでしょう。

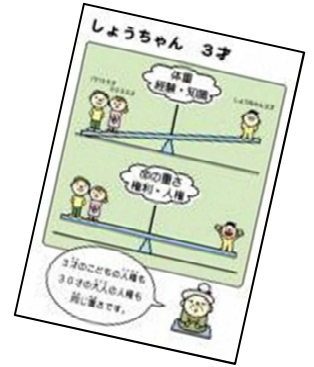
トーク2部では、悠以さんのほかに、体は女性で心は男性の勇守(ゆうま)さんと、大東市在住のレズビアンの鈴佳さんの3人のトークが始まりました。舞台上に3人立っていると、誰の性が本当は何?とややこしくなってしまうかもしれませんが、3人の「しんどさ」を明るく楽しそうに話しているのを聞いていると、誰の性が本当は何?と考えていることが実は変なんだと思いました。



ご本人の表現やお話を、見たまま聞いたままその人を認めたらいいと思うと、あまり不自然さや重さを感じなくなりました。テレビでは性的少数者タレントの面白い話を見たり聞いているものの、実生活ではまだまだ私たちが気づかないことで偏見を持ったり、性的少数者の人たちのいることを正しく話題にしないことで、越えにくい壁や溝を作っているのだということを考えさせられました。

3部の悠以さんのコンサートでは、男性ユウスケと女性・悠以の声を1人でつかい分けて歌う姿にびっくりさせられた不思議な楽しいトーク&コンサートでした。
(レポーター 松ちゃん)

大東市 人権パネル展



大東市・人権啓発ネットワーク大東では、一人ひとりの人権が尊重され、自分らしく生きていける社会をめざして毎年人権パネル展を行っています。今年も5月1日（火）～4日（金・祝）にかけて、野崎観音会館で開催しました。今年のテーマは『こどもみんなが主人公～こどもの人権を考える～』でした。

少々汗ばむ陽気の中、朝から少しずつ来場者も増し、館内で子どもの権利条約のパネルを観覧いただきました。会館前では、子ども虐待防止啓発グッズなどを販売し、人権意識の高揚を図りました。4日間で参加者は1,527人、啓発グッズの売り上げは23,300円で完売しました。ご来場いただきました皆様、ご購入いただきましたすべての皆様に感謝申し上げます。

（レポーター ガンちゃん）

生きる



育つ



守られる



参加する



（ユネスコ 子どもの権利条約 より）

★ 会員募集

— 活動内容 —

人権意識をたかめるための研修会などへの参加・参画。
人権尊重の理念を広く市民に広げるための啓発・広報活動など。
会費等はありません。



NEW

Facebook(フェイスブック)

人権啓発ネットワーク大東の活動がみなさんに届くよう、
Facebook ページを開設しました！ぜひ、フォローお願いします！

（Facebook で「人権啓発ネットワーク大東」を検索！↑）



★ ヒューマンライター

大東市で人権推進につながる取り組みを行っている方々の取材をしていただける方（ヒューマンライター）を募集します。

【応募方法】様式は問いません。

ご住所 お名前 電話番号を記載の上 郵送、FAX でお願います。

〒574-8555 大東市谷川1-1-1

大東市役所（市民生活部 人権室内）

人権啓発ネットワーク大東事務局

TEL：072-870-0441

FAX：072-872-2268